

の方の現状での対応と対策は。  
**答** 生活福祉課にはハローワークOBの就労支援員を雇用し就労につなげており、ニートやひきこもりの方で就労相談ができない方もいる。今後は、福祉総務課と生活福祉課が情報共有を図り、連携の強化に努めたい。

**問** 子ども・若者育成支援に関する相談の拠点は、子ども・若者総合相談センターが挙げられる。しかし、中学校を卒業すると、教育委員会ではなく、それぞれの担当部署が担っているが幼少期からの総合的な育成支援を考えると、相談窓口の一本化が必要ではないか。

**答** 現在、ひきこもり等に関して特定の部署がなく、内容に応じて関係各課で連携して対応しているが、今後、担当窓口一本化に向けて調整していきたい。

**問** 子ども・若者への必要なサポートを行うためには、子ども・若者支援地域協議会、地域ネットワークなどの設置が必要であるが市の考えは。

**答** 天理市や生駒市では、若者支援ネットワークを設置している。昨年11月に両市を視

察し、メリット、デメリットを検証した。まずは、関係課と調整し、2年から3年をめぐりに、既存の協議会等の活用等ができないかを研究し進めしていきたい。



生活支援相談窓口

## 新分庁舎及周辺整備

**問** 2月13日に新分庁舎がオープンし、約1カ月が過ぎ市民からどのような声があったか。

**答** 多くの市民の方から意見を頂いた。「きれいな庁舎で気持ちがいい」「窓口が集約されて便利になった」などのお褒めのお言葉や反対に、「案内表示の不足」、「トイレの位置、駐車場や駐輪場の入り口がわかりにくい」など厳しい

意見もいただいた。これらの意見に対して、優先順位をつけできる限り早期の対応をしたい。

**問** 新庁舎内の案内表示の不足に対して今後の対策は。

**答** 必要であれば、予算措置を行った上で改善に取り組んでいきたい。

**問** 駐車場の発券機の設置場所に問題があり、使用勝手が悪いことについて今後の対策は。

**答** 市が承諾してその位置に設置したが、今後SPCと協議をしながら対応していきたい。

**問** 新分庁舎内で議会中継はしないのか。

**答** 1階の交流スペースは、現在、議会中継を行う設備がないが、今後、整備を考えている。

**問** 新庁舎における附帯事項の渋滞対策も含め今後の交通対策は。

**答** 柳町交差点の信号現示による改良と路面標示の変更で対応したが、今後概ね1年間の交通状況を見た上で、県道大和八木停車場線の一方通行や、ロータリー、駅前広場の改良など引き続き検討を重ねて取り組みたい。

## 一般質問 森下みや子 (公明党)

### ごみの収集体制

**問** 橿原市廃棄物減量等推進審議会の平成28年12月の最終審議の内容は。

**答** 最終答申の基本方針のうち、戸別収集について「少子高齢化の進展など社会構造の変化に伴う多様化・高度化する市民ニーズに対応するため、利便性の向上と負担の軽減などを目指し、戸別収集の対象品目を拡充するなど収集体系の見直しを図る」「粗大ごみについては、ごみの減量・資源化や排出量に応じた費用負担の公平化などを目的として、有料による申告(リクエスト)方式の戸別収集の導入を進める」の2点が提言された。

**問** 粗大ごみのリクエスト方式導入に向けた進捗状況は。

**答** 現在拠点回収している粗大・不燃ごみ、プラ・ペットボトルや有害物を戸別収集とし、粗大ごみは申告式(リクエスト)で都度、有料で回収

を行うよう調整している。戸別収集は排出者の利便性向上やごみの減量・資源化などが期待される一方、収集効率が悪くなり、財政負担が増加するため内部調整中である。その後各地区自治会に説明し、予算や市民への周知を考えると11月中旬に結論を出す必要があるが引き続き調整を図る。

**問** ふれあい収集とは。

**答** 高齢者や身体障がい者のみの世帯で、ごみを指定場所に出すことが困難な世帯を対象に、玄関先で収集を行う。介護保険の要支援または要介護の方もしくは総合事業利用者を含む65歳以上のみの世帯、身体障害者手帳交付を受けた方のみの世帯、および70歳以上のみの世帯が対象。

**問** ふれあい収集を知らない方が多いので丁寧に周知してもらいたい。利用者数は。

**答** 平成28年度当初239件、平成29年度は今現在285件。  
**問** 一般家庭ごみ以外の収集は。  
**答** 週1回の一般家庭ごみと同時に、カン・ビン・ペット・プラボトルは任意の袋で、資源ごみはひもで縛ってもらい、収集している。粗大ごみ、不